

事務事業名 有害鳥獣対策事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：431

施 策：	05	農林業の振興	財務コード	01050104-10-351
基本事業：	03	有害鳥獣の駆除	担当部	環境経済部
基本事業の 成果指標	①有害鳥獣による農産物の被害額		担当課	農政課
			担当係	農政担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成11年度 ～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市鳥獣被害防止対策協議会 筑紫野市鳥獣被害対策実施隊 電気柵設置農家 わな猟免許取得する農林業者等			筑紫野市鳥獣被害防止対策協議会が実施する有害鳥獣対策の経費を負担し、鳥獣被害対策実施隊を中心に有害鳥獣の駆除を行う。 筑紫野市鳥獣被害対策実施隊（13名） 筑紫野市鳥獣被害防止対策協議会 令和5年度実績：1,000,000円						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			電気柵設置農家に設置費用の一部を補助する。 令和5年度実績：件数 16件 補助金額 338,600円 わな猟免許取得補助（受験手数料。登録証交付料、狩猟税） 令和5年度実績：件数 0件 補助金額 0円						
イノシシ等の有害鳥獣の駆除及び侵入防止用柵の設置によって、農林産物被害が軽減されている。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
農林産物被害額		千円	4,381	3,810	6,500	6,000			4,404
電気柵整備距離		m	3,700	4,800	4,000	4,000			4,000
5. コスト									
事業費	計	千円	1,362	1,339	2,046	2,046			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	666	720	600			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
一般		千円	1,362	673	1,326	1,446			
正職員人工数		人工	0.9	0.9	0.9				
正職員人件費		千円	6,955	7,034	7,221				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	8,317	8,373	9,267	2,046			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
●あがっている		<状況> 駆除の頭羽数は年によって増減はあるものの、前年度との比較で農作物被害は減少している。 <原因> 協議会及び民間狩猟者による有害鳥獣駆除の取組みにより、農作物被害の減少に繋がっている。 <課題> これまでの継続した取組みにより、被害は前年度より減少しているものの、1年でも捕獲の圧力が低下すると、鳥獣の繁殖力が上回り被害が増えてくる。その為、引き続き駆除従事者の確保、育成を図り捕獲圧を高める必要がある。							
○どちらかといえばあがっている									
○あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	なし	農業被害軽減のためには、捕獲活動と並行して地域における被害防止の取り組みが不可欠であるため、地域の農林業者に対して、被害防止取組への理解を深めるための説明会等を行う必要がある。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持／事業終了の場合は記入する必要なし）									
有害鳥獣頭数に比例して農業被害額も増加することから、今後も継続的な駆除等の対策が必要である。また、農作物被害を減少させるための環境づくりについての説明会等を行う。									
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄					
有害鳥獣による農作物の被害を防止するため、駆除及び電気柵設置補助を行う。									